

参加無料(事前申込)

2016 公開シンポジウム

徹底討論！被災自治体を支援する災害情報の利活用とは？

国立研究開発法人防災科学技術研究所(理事長:林春男)は、2016年11月24日(木)に公開シンポジウム「徹底討論！被災自治体を支援する災害情報の利活用とは？」を開催します。今回のシンポジウムでは、内閣府SIP『レジリエントな防災・減災機能の強化』の研究進捗を紹介するとともに、平成28年熊本地震における情報支援を踏まえ、災害情報の利活用に関する防災研究のあり方や求められるものについて、実際に災害対応にあたる実務者や有識者による活発な討論の場をしたいと考えております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



- 日時：平成28年11月24日(木) 13:00~17:00
- 場所：東京国際フォーラム D5 (JR有楽町駅下車)

■ パネリスト

- ・ 釜石市 元防災課長 佐々木守
- ・ 千葉県 防災政策課 主幹 浅尾一巳
- ・ 国立病院機構 災害医療センター 池田初男 など

(詳細は裏面へ)



- 申し込み：下記、防災科研のHPから
<http://risk.ecom-plat.jp/hp/161124sympo/>



徹底討論！被災自治体を支援する災害情報の利活用とは？

(1)開会挨拶(13:00~13:10)

理事長 林 春男

(2)第一部「SIPと平成28年熊本地震への情報支援活動の概要」(13:10~13:40)

主幹研究員 伊勢 正

(3)第二部 徹底討論

熊本地震への対応において、防災科研が実施した災害情報支援は、様々な防災関係機関等で活用されたことが確認されています。前震翌日の15日午前より研究員を熊本県庁に派遣し、熊本県や防災関係機関から提供された様々なデータを地理情報としてWeb-GIS上に整理し、防災関係機関に電子地図として提供しました。さらに、各機関の求める情報項目、表示する範囲、印刷物のサイズなどを踏まえ、紙の地図として印刷し配布するなどの支援をいたしました。こうして提供された地図情報は、例えば、DMAT(災害時派遣医療チーム)においては、県庁内の本部に常に掲示され、毎朝の活動会議において全体方針の検討、説明に活用していただきました。

こうした活動を踏まえ、

- 情報システムを活用した災害情報の利活用はいかにあるべきか？
- 災害情報の利活用を促進するために社会が一体になりやるべきことは？

実際に災害の現場に立ち向かう実務者の皆様、有識者の皆様をお迎えして、徹底的な討論を行いたいと思います。

その1:「発災直後、超急性期の情報利活用とは？」

(13:50~15:15)

●パネリスト(敬称略):

千葉県 防災政策課 主幹
 釜石市 元防災課長
 国立病院機構 災害医療センター(DMAT)
 山梨大学大学院総合研究部工学域 准教授
 東北大学災害科学国際研究所 助教

浅尾一巳
 佐々木守
 池田初男
 秦 康範
 佐藤翔輔

●コーディネーター:

防災科学技術研究所 研究統括

臼田裕一郎

その2:「災害対応で求められる情報のあり方とは？」

(15:30~16:55)

●パネリスト(敬称略):

千葉県 防災政策課 主幹
 四万十町 危機管理課 副課長
 日本テレビ報道局 チーフプロデューサー
 ヤフー株式会社 社会貢献推進室長
 山梨大学大学院総合研究部工学域 准教授
 東北大学災害科学国際研究所 助教

浅尾一巳
 川上武史
 谷原和憲
 妹尾正仁
 秦 康範
 佐藤翔輔

●コーディネーター:

防災科学技術研究所 研究統括

臼田裕一郎

(4)閉会挨拶(16:55~17:00)

レジリエント防災・減災研究推進センター長

藤原広行

【会場案内】東京国際フォーラムへのアクセス

(東京国際フォーラム <http://www.t-i-forum.co.jp/general/access/>)

< JR線 >

・有楽町駅より徒歩1分 ・東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

< 地下鉄 >

・有楽町線: 有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡) ・丸ノ内線: 銀座駅より徒歩5分
 ・日比谷線: 銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分 ・三田線: 日比谷駅より徒歩5分
 ・千代田線: 二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
 ・銀座線: 銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分

※ プログラムは予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。